

宮城県考古学会連絡紙

第84号

2022年4月24日発行

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

東北大学大学院文学研究科考古学研究室気付 宮城県考古学会事務局

2022年度宮城県考古学会総会・研究発表会について

2022年度総会・研究発表会については、新型コロナウイルス感染症対策を十分に実施した上で通常の開催方法で実施いたします。参加申し込みは不要です。

日時:2022年5月14日(土) 10:00~16:30

会場:石巻市こもれびの降る丘遊楽館 かなんホール
(宮城県石巻市北村前山 15-1、地図参照)

主催:宮城県考古学会

共催:石巻市教育委員会、宮城県教育委員会

※参加費・資料代:無料

日程

【総会】

9:30~ 受付

10:00~10:50 総会

《議案》

- (1)議案第1号 2021年度事業報告 について
- (2)議案第2号 2021年度収支決算報告
- (3)議案第3号 2022年度事業計画(案)について
- (4)議案第4号 2022年度収支予算(案)
- (5)議案第5号 役員改選(案)について
- (6)議案第6号 東日本大震災復興調査成果活用実行委員会設置期間の延長について
- (7)その他

【研究発表会】

○特集「新たにわかった!宮城の縄文時代」『復興関係調査で拓かれた地域の歴史3』

11:00~11:05 特集趣旨説明

11:05~11:35 報告①佐藤佳奈「牡鹿半島における縄文集落遺跡-石巻市中沢遺跡・羽黒下遺跡の調査成果-」

11:35~12:05 報告②早瀬亮介「宮城県の前期縄文土器-復興調査を主とする近年の調査成果と課題-」

12:05~13:15 昼食・遺物展示

13:15~13:45 報告③松崎哲也「復興事業に伴う貝塚調査と前・中期の動物資源利用」(リモート報告)

13:45~14:15 報告④菅原弘樹「里浜貝塚における集落と震災の歴史」

14:15~14:30 休憩

14:30~15:00 報告⑤妹尾一樹「仙台市内の縄文後晩期遺跡-名取川左岸の低地域について-」

15:00~15:30 報告⑥小野章太郎「大崎平野北縁部の縄文晩期の遺跡群」

15:30~15:40 質疑応答

15:40~15:55 特集のまとめ

15:55~16:00 閉会行事

16:00~16:30 遺物展示

《誌上報告》

初鹿野博之「山元町内の縄文遺跡調査成果」

鹿又喜隆・佐藤みなみ「石巻市羽黒下遺跡の玦状耳飾の製作技術に関する実験考古学的研究-高倍率法-」

【遺物展示】

特集発表にかかわる遺跡から出土した縄文土器等の展示を行います。

【懇親・交流会】

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今回は中止いたします。

【注意事項】

○新型コロナウイルス感染症対策のため、体調のすぐれない方、風邪等の症状のある方は参加をお控えください。

○会場ではマスク着用のご協力をお願いいたします。

○会場入り口などにアルコール消毒液を設置しますので、適切にご活用下さい。

○施設内は飲食禁止となります。ご注意ください。

○新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言等の発出等により延期・中止等をする場合は、下記ホームページにて連絡致します。

【連絡先】

宮城県考古学会 企画代表幹事 安達訓仁

FAX 022-217-5103 E mail info@m-kouko.net

ホームページ <http://www.m-kouko.net/>

博物館・展覧会・イベント等情報

【東北歴史博物館】

●テーマ展示「中世のうつわ-宮城県出土資料から-」

[会期] ~7月3日(日)

●館長講座

阿子島香館長が、「東北グローバル考古学:part2 —原始・古代のロマンと科学—」をテーマに、令和4年度の館長講座を行います。

世界の考古学から人類史上のテーマを取り上げて、宮城

県や東北地方の遺跡について、比較文化的に考察します。

- 第1回 4月23日(土)「世界遺産と縄文みやぎ」
- 第2回 5月28日(土)「北京原人と「日本原人」の謎」
- 第3回 6月25日(土)「農耕をしないという選択」
- 第4回 7月23日(土)「ヴィーナス像から土偶まで」
- 第5回 8月27日(土)「石器の使い方を科学する」
- 第6回 9月24日(土)「現代人的行動の起源」
- 第7回 10月22日(土)「「首長」から「王」へと至る道」
- 第8回 11月26日(土)「古代東北と、世界の六大文明」

時間:13:30~15:00

場所:東北歴史博物館 3F 講堂

定員:各回 145名(事前申込み制、先着順)

費用:無料

※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定が変更になる場合があります。

個人情報、本講座に必要な範囲の目的にのみ利用するものですが、必要に応じて保健所等の公的機関に提供される場合があります。

【地底の森ミュージアム】

●第100回企画展「仙台の遺跡めぐり 再発見！富沢遺跡」

第100回目の節目となる企画展では、当館が保存公開している富沢遺跡について改めてご紹介します！富沢遺跡から見つかった各時代の資料を展示するほか、長町南周辺の風景の移り変わりなども紹介します。長町南周辺は、時代とともに、どのように変化してきたのか、展示室で「再発見」してみてください！

会期:4月22日(金)~7月18日(月・祝)

会場:地底の森ミュージアム 企画展示室

■企画展関連講座「発掘！富沢遺跡(仮)」

日時:5月28日(土) 13:30~15:00

講師:仙台市教育委員会文化財課 職員

会場:当館研修室

定員:会場30名、オンライン(Zoom)80名(事前申込み)

■企画展関連イベント「ギャラリートーク」

日時:5月15日(日)、6月5日(日)、7月10日(日) 各日13:30~14:00

講師:当館学芸員

会場:当館企画展示室

対象:当日の来館者(先着10名)

■企画展関連イベント「探検！富沢遺跡~展示室をまわって謎を解こう！~」

日時:6月26日(日) 13:30~15:00

会場:当館展示室

対象:当日の来館者(先着50名)

【名取市歴史民俗資料館】

●第8回企画展「名取の貝塚—海や潟湖と縄文人—」

期間:令和4年4月10日(日)~令和4年6月26日(日)

時間:午前9時~午後5時

休館:毎週月曜日(祝休日の場合はその翌平日)

観覧料:無料

市内にかつてあった貝塚や現存する貝塚から、環境の移り変わりや当時の人々が海や潟湖(せきこ)とどのように関わってくらしていたのかをご紹介します。

【村田町歴史みらい館】

●協定企画展「村田縄文 Academy—姥沢遺跡の発掘調査からわかる村田町の歴史—」

東北大学大学院文学研究科と同大埋蔵文化財調査室、村田町教育委員会の3者により、文化財の研究・活用に関する相互協力協定を締結しました。その活動の第一歩として、大学で調査を継続している村田町姥沢遺跡に関する展示を、歴史みらい館で行っています。また、東北大学は創立115周年、総合大学100周年を迎えます。それを記念し、奥羽資料調査部等の収集資料も展示しています。ぜひ御覧ください。

○期間:3月15日(火)~5月15日(日)

○場所:村田町歴史みらい館 1階 企画展示室

○開館時間:午前9時~午後5時

○観覧料:無料

○休館日:月曜日、祝日の翌日

○主催:東北大学大学院文学研究科、東北大学埋蔵文化財調査室、村田町教育委員会

会誌『宮城考古学』について

会誌『宮城考古学』第25号(2023年5月発行予定)への投稿を募集しています。原稿締切りは、2023年1月31日です。投稿希望の方は、5月に刊行される会誌24号に掲載の執筆案内を御覧ください。

会費の納入をお願いいたします

会費は一般会員が4,000円、学生会員が1,000円、夫婦会員が5,000円です。未納の方は、お早めにお支払い下さい。

情報・寄稿などをお寄せ下さい！！

考古学に関する情報や寄稿、会員通信等をお寄せ下さい。また、ご意見ご要望もお待ちしております。

本会 Web サイト(<http://www.m-kouko.net/>)では、本会連絡紙のほか、お寄せいただいた情報を随時掲載いたしております。発掘調査情報、学会、イベントなど考古学に関する情報をお寄せください。

<連絡先> 鈴木 啓司(連絡紙代表幹事)

E-mail: info@m-kouko.net(宮城県考古学会)